くみあいNEWS

第１５３７４号
2025年2月7（金）
発行責任者
日本製鉄和歌山労働組合
組織教宣部
WAKAYAMA WORKERS' UNION

組合ＨＰ　組合 LINE

代表内線番号　和歌山地区（本部）543590
堺地区　652990／海南地区　545555

ＡＰ２５春季取り組みスタート

「人への投資」として賃金改善

１５，０００円を要求！！

日本製鉄労連は2月7日(金)の第１回団体交渉において、会社に対し、賃金改善に関する要求書を提出しました。



＜具体的な要求内容＞

１．基本賃金の改善
組合員一人ひとりの活力発揮、優秀な人材の確保・定着等の観点から、「人への投資」として、組合員一人あたり１５，０００円を基本賃金へ財源投入すること。

２．賃金構造維持分の確保
２０２５年度において、賃金構造維持分を確保すること。

３．ＡＭ資格者・再雇用者等の改善
「ＡＭ資格者・再雇用者」および「新入社員の初任賃金」等についても、上記内容に準じ改善すること。

日本製鉄労連「第１４回中央委員会」において
和歌山労組として補強意見を述べました

和歌山労組は、２月４日（火）に開催された日本製鉄労連「第１４回中央委員会」において、第１号議案「ＡＰ２５春季取り組み方針（案）」に対し支部会議で集約した意見をもとに補強意見を述べました。

第１４回中央委員会　和歌山労組発言

ご安全に。和歌山労組の大田です。ＡＰ２５春季取り組み方針（案）について、原案賛成の立場を表明したうえで意見を申し上げます。

前回のＡＰ２４春季取り組みにおいて、要求額を上回る回答をうけて金属産業トップクラスの賃金となり、組合員は一流の処遇に相応しい一流の実力をつけるべく懸命に業務に励んできました。しかしながら、昨年を振り返ると休業・不休災害の多発に加え、操業トラブルも続いたことから、これまで以上に組合員は強い危機感をもって、会社の期待に応えるべく日夜安全・安定操業に努めているところです。

和歌山地区においては、労働条件改善の積み重ねなどにより定着率が年々改善傾向にあります。一方で、2024 年 3 月末における高卒の有効求人倍率が 3.52 倍、工業高校においては 27.2 倍と大幅に上昇している中、各企業は人材獲得に向けて様々な取り組みを行っており、労使共通の最重要課題の一つである優秀な人材の確保・定着はより難しさが増してきています。こうしたことから、交替勤務や重筋作業など、厳しい環境下での業務であったとしても、「日本製鉄に入社したい」と思えるように労働諸条件の更なる改善を早急にすすめていかなければなりません。

今次ＡＰ春季取り組みにおいても、連合会が引き続き高水準となる 15,000 円の要求を行うことに対して、組合員の関心は非常に高まっています。組合員一人ひとりの更なる活力発揮はもとより、優秀な人材の確保・定着に資する魅力ある労働諸条件の構築、金属産業トップクラスの賃金の維持・向上に向けて、すべての組合員が期待する満額回答をめざし、連合会の粘り強い交渉をお願いします。

また、関係・協力会社においては、優秀な人材の確保・定着はより深刻な課題であり、直・協がこれからも共存共栄していくためにも「格差改善」が不可欠です。基幹労連は、この課題の解決を図るべく、今次ＡＰにおいて中小企業の賃金改善要求額「15,000 円＋1%」の考え方を示しました。連合会におかれては、ＮＳＧＲに加盟する全ての労働組合がこの要求額で取り組めるように、強いリーダーシップの発揮と交渉支援をお願いします。

最後に、和歌山労組は今次春季取り組みに対し、全組合員が一丸となって取り組んでいく決意であることを申し述べ、単組を代表しての発言といたします。

以　上



大田執行委員